

第3回 CHIBA こども新聞コンクール 応募用紙

| | | | |
|--------------------|----------------------------------|--|------|
| 学校名 | | 学年・学級 | 年 組 |
| 学校住所 | 〒 ー | 電話番号 | () |
| 新聞名 (題字) | | 担当教諭 | ふりがな |
| 応募部門 | <input type="checkbox"/> 学校新聞 | <input type="checkbox"/> 小学校部門 <input type="checkbox"/> 中学校部門 | |
| | <input type="checkbox"/> 学級新聞 | <input type="checkbox"/> 小学校部門 <input type="checkbox"/> 中学校部門 | |
| | <input type="checkbox"/> 学習新聞 | <input type="checkbox"/> 小学校低学年部門 <input type="checkbox"/> 小学校高学年部門 <input type="checkbox"/> 中学校部門 | |
| | <input type="checkbox"/> はがき新聞部門 | (小・中学校同一審査対象、クラス単位で応募) | |
| 作品 アピール ポイント | 必ずご記入ください。 | | |

※原則として応募作品は返却しません。返却を希望する場合、送料は自己負担となります。
※作品には必ず応募用紙を貼り付けること

応募期間 = 2019年12月1日～2020年1月20日(必着)

【応募条件】 千葉県内の小・中学校(特別支援学校の小学部・中学部を含む)の児童・生徒が作製し、2019年4月以降に発行された「新聞」。複数号(2号以上)発行していること

【部 門】 学校新聞 = 小学校部門、中学校部門(学校単位で応募)
学級新聞 = 小学校部門、中学校部門(学級単位で応募)
学習新聞 = 小学校低学年(1～3年)部門、小学校高学年(4～6年)部門、中学校部門
はがき新聞部門(小・中学校合同、クラス単位で応募)

【新聞のサイズ・様式】

学校新聞 = A4判またはB4判
学級・学習新聞 = A4判～模造紙サイズ(2枚以上の貼り合わせはしない)
はがき新聞 = はがきサイズ～A5判サイズの紙を使った、クラスの児童・生徒の作品集
(模造紙貼り付けは最大2枚、綴じ込み式にする等)

【テ ー マ】 各部門とも自由。学校やクラスの友達、先生、家族、地域の人々に伝えたいこと

【審査基準】
▷記事の内容(面白さ、分かりやすさ、共感できる)
▷レイアウト(読みやすさ、デザイン性)
▷見出し(記事のポイントを捉えているか、インパクト)
▷チームワーク(協力して制作しているか、チーム力が反映されているか) など

【 賞 】 部門ごとに最優秀賞、優秀賞、特別賞など

【審査会・結果発表】 2月に千葉市内で開催、千葉日報紙上と千葉日報オンラインで結果発表

【表彰式】 3月に千葉市内で開催

応募方法

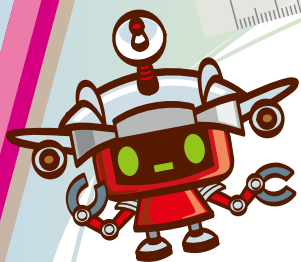
所定の応募用紙に必要事項を記入、作品と一緒に郵送する
送付先 〒260-0013 千葉市中央区中央4の14の10
千葉日报社「こども新聞コンクール」係
※電話でのお申込みは受付しておりませんので、ご了承ください。

●応募用紙は千葉日報オンラインからダウンロードできます●

問い合わせ先 = 千葉日报社読者サービス室内こども新聞コンクール事務局
TEL. 043-227-4654 (平日9:00～17:00)
FAX. 043-224-3662

※お申込みいただいた皆様の個人情報は、個人情報保護法にのっとり管理いたします。
※お預かりした個人情報は、本コンクールに関連した目的のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

第3回 CHIBA こども新聞 コンクール



学校、地域の出来事や
教室で学んでいることを
新聞にしよう!

みんなの 「新聞」募集!

応募期間=2019年12月1日~
2020年1月20日(必着)

新聞づくりを通して、
自分の考えをまとめ、
情報を発信する力を身
に付けよう!



小中学生の皆さんへ

「何の役に立つのだろう」。授業を受けていて、こんな疑問を感じた経験が、誰にでもあるはず。教室で学んでいること、日常生活のつながりに対する理解が、不十分だったからではないでしょうか。

新聞には「学び」と「生活」を結び付ける力があります。社会、地域の出来事をはじめ、さまざまな情報がたくさん載っている新聞を読むうちに、学校も家庭も自分も、社会、地域の一員だと分かってくるはずです。

新聞には、社会を知る喜び、楽しさがあります。楽しいことは誰かに伝えたいです。分かりやすく伝えるにはどうしたらいいのだろう? 「新聞づくり」を通して工夫を重ねることが、考えをまとめ、情報を発信する力の育成につながります。

たくさんの応募をお待ちしています。

部 門

学校新聞=小学校部門、中学校部門
学級新聞=小学校部門、中学校部門
学習新聞=小学校低学年(1~3学年)部門
小学校高学年(4~6学年)部門
中学校部門
はがき新聞部門

テ ー マ

各部門とも自由。学校やクラスの友達、先生、家族、地域の人々に伝えたいこと